

URA スキル認定制度
研修実施要項
2023 年度

Advanced レベル

研修に関する重要事項が記載されています。
お申し込みの前に必ずお読みください。

実施時期	研修レベル	申込期間	受講料 支払期限	受講期間
2023 年度	Advanced レベル	随時	随時	2 年間

2023 年 9 月 4 日版

(目的)

本研修は、一般社団法人リサーチ・アドミニストレータースキル認定機構（以下「URA スキル認定機構」という。）が行う、リサーチ・アドミニストレーター等の研究マネジメント人材（以下「URA」という。）の質を保証するための認定制度（以下「URA スキル認定制度」という。）の枠組みの中に位置づけられるもので、URA として求められる業務遂行能力のうち知識・理解力を得る、あるいは高めるためのものです。

URA スキル認定制度における研修は、Fundamental, Core, Advanced レベルの3つで構成されています。この実施要項で対象とするのは Advanced レベルです。

なお、この実施要項で使用する用語の説明は次のとおりです。

- ・研修・審査ポータル：受講料支払いを含む研修の申込みや受講履歴の確認ができます。
- ・研修受講システム：オンデマンド研修を受講する際に「研修・審査ポータル」からアクセスします。動画の視聴や確認テストの受験ができます。
- ・研修実施団体：研修を実施する団体（URA スキル認定機構とは別団体です）
- ・専門業務区分：URA スキル認定制度の認定専門 URA 及び Advanced レベルで設定されている業務区分のこと。

(関連サイト)

一般社団法人リサーチ・アドミニストレータースキル認定機構

URL: <https://www.crams.or.jp/>

URA スキル認定制度 研修・審査ポータル

URL: <https://www.crams.or.jp/system/>

研修科目のシラバス

URL: <https://www.crams.or.jp/advanced/>

Advanced レベル

URA スキル認定制度における Advanced レベルの研修は、URA あるいは URA 業務の経験を有する人を主たる対象に、従事業務に関係する知識やノウハウの獲得や振り返りを目的としています。研修は専門業務区分ごとに行われます。

Advanced レベルは共通科目と専門科目で構成されます。専門科目は関係団体が実施します。認定専門 URA の申請を検討されている場合は、共通科目と専門科目の両方を受講し、Advanced レベルを修了する必要があります。

(1) 受講対象者

Advanced レベルの研修自体は、専門業務区分ごとに定められる受講者に求められる能力を満たしていればどなたでも受講できます（認定への申請の有無にかかわらず）。ただし、認定専門 URA への申請を希望されている場合は、認定 URA を取得しておく必要がありますのでご注意ください。

(2) Advanced レベルの修了要件

専門業務区分ごとに設定される要件を満たし、かつ共通科目を受講すること

(3) 受講期間

2 年間（2 年以内に区分科目と共通科目を各 1 回だけ受講してください。）

(4) 修了判定

専門業務区分ごとに実施される研修の修了証の提出（写可）および共通科目の受講判定に基づく。

(5) Advanced レベルの修了証の有効期間

5 年間

(6) 過去に該当研修を受講した人への対応

過去に該当研修を受講した人については過去 5 年以内の受講に限り受講済みとして扱います。この場合の当該研修修了の有効期間は、希望者が提出した修了証記載の日付が属する過去の期（4 月～9 月（前期）又は 10 月～翌 3 月（後期）から起算して最大 10 期（5 年）とします。

(7) Advanced レベルの受講経費について

Advanced レベルの受講経費は、共通科目受講経費と専門科目受講料で構成されます。共通科目受講経費には、共通科目受講料と登録管理（各個人の受講科目の成績及び研修の修了判定結果、認定審査の申請資格の有無等の記録の管理）及び修了証発行手数料が含まれます。共通科目受講経費は、URA スキル認定機構へお支払いください。専門科目受講料は、研修実施団体へ直接お支払いください。なお、専門科目の受講だけでは認定専門 URA の申請要件となる Advanced レベルの修了にはなりませんのでご注意ください（認定専門 URA の審査料が別途発生します。）。

項目（11）の非常時の場合を除き、既納の受講経費は返金しません。

共通科目受講経費：27,000 円

(8) その他

Advanced レベルの専門科目は専門業務区分ごとに研修実施団体が異なります。開講時期については実施団体の web サイトも確認するようにしてください。

(9) 共通科目の開始時期について

共通科目については 2023 年度から受講できるよう調整中です。決まり次第ご案内します。

(10) 専門科目の研修実施団体と問い合わせ先

専門業務区分	研修実施団体	問い合わせ先	備考
大学戦略の企画立案	RA 協議会		2023 年度から開始予定
プロジェクト企画運営	RA 協議会		2023 年度から開始予定
セクター間連携	信州大学/RA 協議会		2023 年度から開始予定
知的財産管理と活用	UNITT	contact★unitt.jp	2022 年度から開始
医療系	医療系産学連携ネットワーク協議会 (medU-net)	jinzaiyosei.tlo★tmd.ac.jp	2023 年 10 月～12 月

※研修実施団体にお問い合わせの際は、「問い合わせ先」の「★」を「@」に変更ください。

(11) 非常時における受講経費の取り扱い

非常時における専門科目受講料の取り扱いについては、研修実施団体にお問い合わせく

ださい。

機構に支払われた共通科目受講経費については、次のいずれかに該当する事態が生じた場合、返還します。

- 1) 災害その他やむを得ない事由により、機構が研修を中止した場合
- 2) 機構に起因する事由により、機構が研修を中止した場合
- 3) その他前各号に類似する事象があったと機構が認めた場合

なお、返金手数料の負担は、次のとおりとします。

- 1) の場合は、受講者が返金手数料を負担
- 2) の場合は、機構が返金手数料を負担
- 3) の場合には、機構が受講者又は機構のどちらが返金手数料を負担するのかを判断

※災害その他やむを得ない事由により、機構が研修を途中で中止した場合、その時点での受講済み・受験済みの結果及び履歴は消去します。

(12) 個人情報の取扱いについて

URA 認定制度に係る個人情報の取扱いについては、URA スキル認定機構における個人情報保護規程、文書保存規程及び研修・審査ポータルの利用規約に則ります。ただし、受講履歴の把握等業務に必要な範囲で、研修実施団体と個人情報を共有する可能性があることを事前に同意いただくことになります。

(13) 更新情報等の掲載場所

研修の実施に関わる更新情報や研修・審査ポータル及び研修受講システムの操作方法等については、URA スキル認定機構の web サイトもしくは研修・審査ポータル上で随時公開します。受講を検討されている人は、こまめに URA スキル認定機構等の web サイトを確認するようにしてください。

専門業務区分の研修シラバス（開講されるものから順次掲載）

知的財産管理と活用

1. 当該専門業務区分における人材像

大学や研究機関で URA として求められる知的財産の管理と活用に関して、高い問題解決能力、研究の活性化能力、組織の機能強化能力等を習得し、最終的には、知的財産に関するすべてのソリューションサービスを提供できる能力と実績を兼ね備えた人材

2. 当該専門業務区分で対象とする分野

- 知的財産の創出に関し、研究者等からの相談を受け創出支援に関する業務
- 知的財産の保護に関し、研究者、弁理士等と権利化内容の調整・支援に関する業務
- 知的財産の契約／法務に関する業務
- 知的財産の活用に関し、技術移転やベンチャー支援、係争など交渉・支援に関する業務
- ソフトウェア（主に著作権を中心に）の取り扱いを支援する業務
- 研究データ（主に秘密情報、研究エビデンスを中心に）の取り扱いを支援する業務

3. 受講者に求める能力（研修を受講するために前提となる知識や経験）

受講対象者は、以下のいずれか1つ以上に該当する者とする。

- 1) 大学/研究組織/企業/特許事務所等で知的財産業務に携わっている実務者又は経験者
- 2) 大学/研究組織/企業/特許事務所等で知的財産業務に携わっていくことを考えている人

4. 当該専門業務区分の研修での達成目標

大学や研究機関で扱う知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権、著作権、育成者権、営業秘密、商標権等）や研究成果有体物、ノウハウ、研究データ等の管理と活用(知財戦略、技術移転、事業化)に関する知識を習得する。

習得した知識を活用し、大学や研究機関における知的財産戦略の立案、対外組織との交渉や契約締結、技術移転及びそのためのマーケティング、ベンチャー支援、組織的な知的財産啓発活動や人材育成、等を実践・主導する。

5. 当該専門業務区分におけるスタークラスのイメージ

Advanced レベルの人物像に加えて、知的財産分野において組織のトップとして、知財業務の立ち上げから運営までに直接関与し、また技術、経営、知財等の広範囲にわたる知識と経験を有する人材。

6. 当該専門業務区分で開講する科目構成と科目概要、開講形態

研修名：ライセンス・アソシエイト研修 基礎編

所要時間：12.5 時間

研修概要：研修では、座学だけでなく、グループディスカッション、ロールプレイング等を交え、研究者への発明ヒヤリングから、弁理士への発注、ライセンシー候補先企業のターゲティングをどう行えばいいのか、ライセンス条件の設定、タームシートの作成、企業へのプレゼンテーション・条件交渉等の実務を仮想事例に基づくケースメソッド方式で体験します。

研修のゴール：大学で創出された発明をどのように認定し、権利化を図り、企業等に技術移転するのか一連の流れを理解し、視野を広げる。

評価方法：出席と研修への参加態度

修了証の発行方法：研修を実施する UNITT からの発行

開講形態：対面開催（オンライン開催に変更される可能性もあります。）

研修の実施方法や内容の詳細は、必ず UNITT の web サイトで確認してください。

URL：https://unitt.jp

医療系

1. 当該専門業務区分における人材像

医学・医療分野における研究支援に関する業務の特殊性・特異性と、関連法令等を理解したうえで、資金調達、各種ステークホルダーとの連携に関する支援、技術移転や事業化などの実用化に向けた企画や戦略における助言、提案が行える。

2. 当該専門業務区分で対象とする分野

医学・医療分野における研究支援、産学連携活動全般

3. 受講者に求める能力

- ・認定 URA であること（URA としての基本知識&スキルは有している。）

かつ

- ・下記①又は②のいずれかの経験を有すること

①大学等の研究機関又は医療機関等において医学・医療に関連する分野の研究支援担当として3年以上の業務経験を有する。

②医学/医療分野における企業・法人等において5年以上の業務経験を有する。

(必修又は選択の履修科目のいずれかの内容に関連する業務経験に限る。)

4. 当該専門業務区分の研修での達成目標

- ・医学・医療分野における研究支援に関する業務の特殊性・特異性を理解できる。
- ・医学系・医療分野における研究，事業化に関する関連法令等を理解できる。
- ・上記を踏まえて適切な研究支援や研究戦略を提案できる。

5. 当該専門業務区分におけるスタークラスのイメージ

Advanced レベルの人物像に加えて，企業や社会のニーズを分析・評価するマーケティング力，ビジネスプランニング力を有し，組織の研究経営に資するプロジェクト構築や資金調達，企画立案，人材育成，スタートアップ支援等が行える。

6. 当該専門業務区分で開講する科目構成と科目概要，開講形態

研修名：医療イノベーション人材養成プログラム

所要時間：10 時間程度（1 回 90 分程度）

研修概要：座学を基本とし，必修 2 科目と選択科目から 2 科目の受講を求める。講義は，医学・医療分野における国内外の事例や最新トピックス等を交える。

研修のゴール：ライフサイエンス分野の研究活動を推進し，研究成果を適切に取り扱う為に必要となる知識・情報等を獲得する。

評価方法：必修・選択科目への参加（出席率 80%）とプログラム終了後のレポート提出（A4 一枚程度）

修了証の発行方法：研修を実施する medU-net から発行

開講形態：ZOOM によるオンライン開催

研修の実施方法や内容の詳細は，必ず medU-net の web サイトで確認してください。

URL： <https://tmdu-oi.jp/jinzaiyoseipg/>

(以下，空白)